

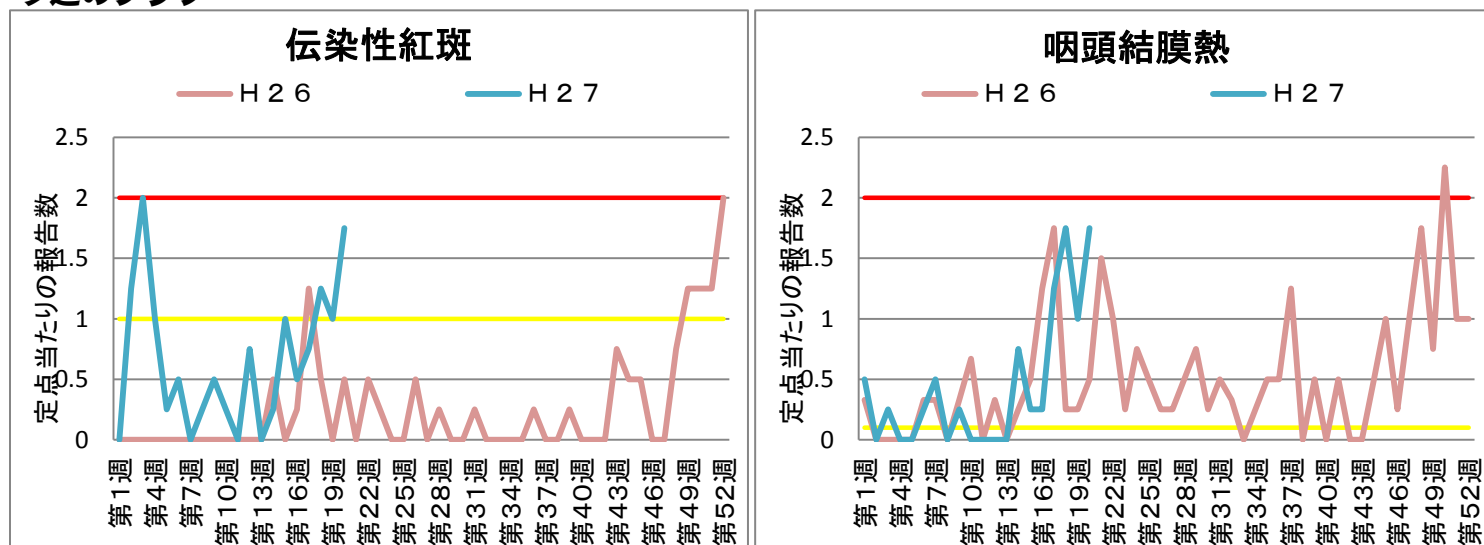
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 20 週 平成27年5月11日 ～ 平成27年5月17日

今週のコメント

伝染性紅斑の報告が、定点あたり1.75件まで増加しています。全国的にも4年ぶりの流行となっています。伝染性紅斑はリンゴ病とも呼ばれるヒトパルボウイルスB19による感染症です。両頬に紅い発疹、体や手・足に網膜状の発疹がみられ、発疹が出現する7～10日前に微熱やかぜのような症状がみられることが多いです。妊娠されている方が感染すると胎児水腫や流産を起こす場合がありますので、妊娠中・妊娠の可能性のある方はできるだけかぜ症状がある人との接触を避けましょう。咽頭結膜熱の報告も継続しています。伝染性紅斑・咽頭結膜熱ともに感染経路は飛沫感染・接触感染です。集団の間ではタオルなどの共用は避け、手洗いやうがい、咳エチケットをこころがけましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.29	手足口病	0.5
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	1.75
咽頭結膜熱	1.75	突発性発しん	1.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	百日咳	-
感染性胃腸炎	8.5	ヘルパンギーナ	0.25
水痘	0.5	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

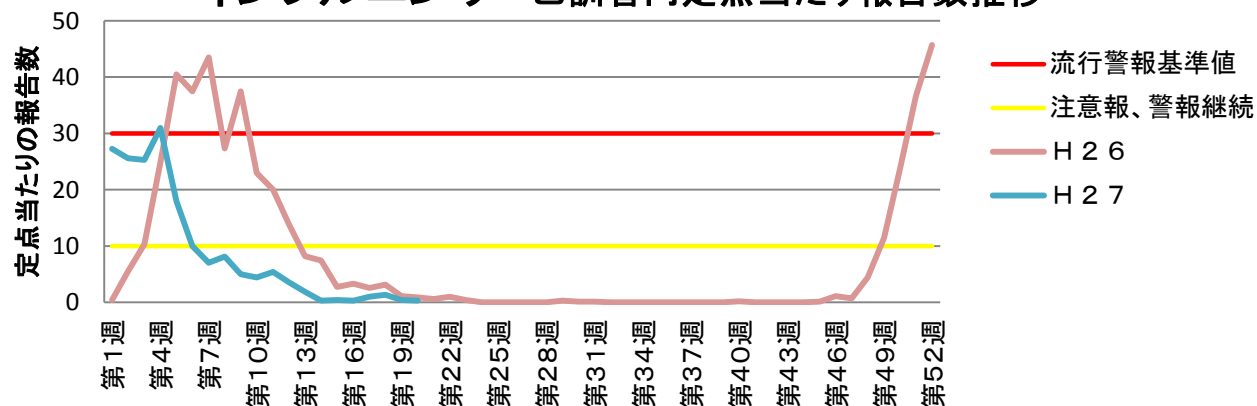
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

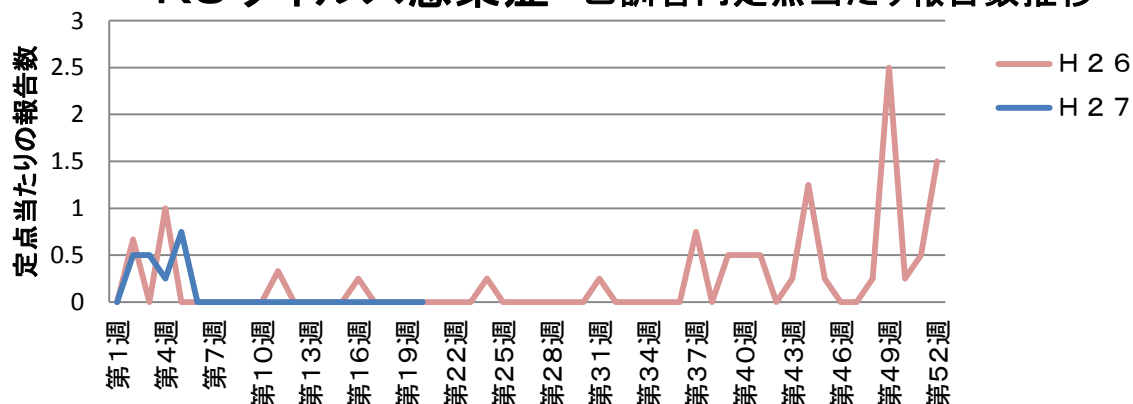
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

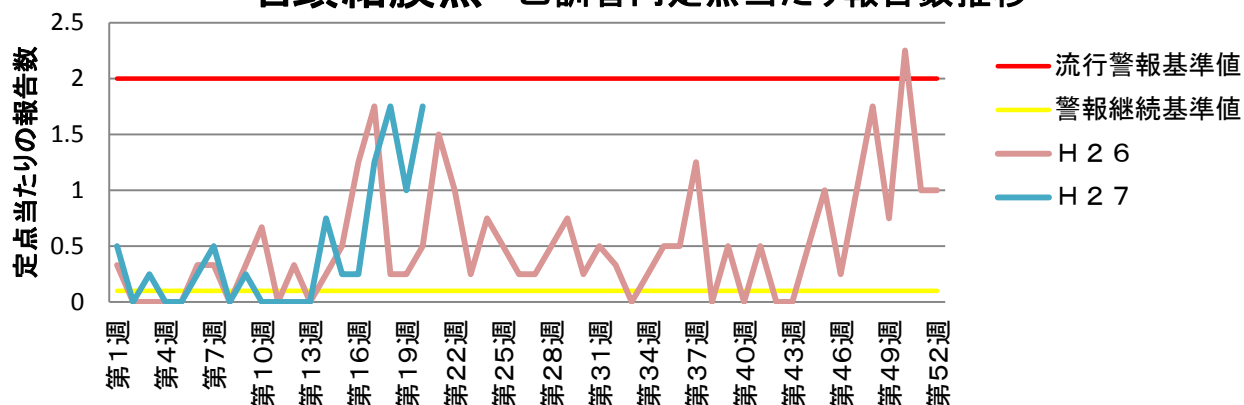
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



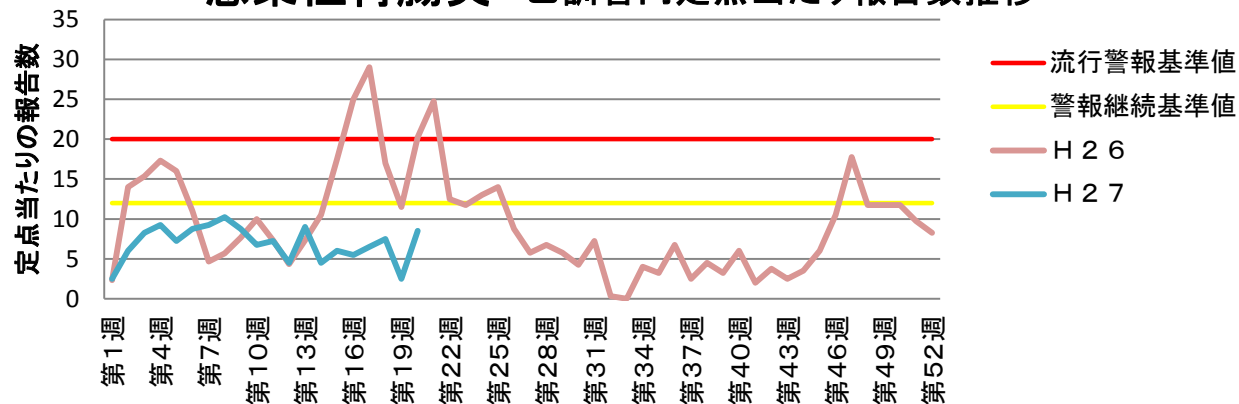
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



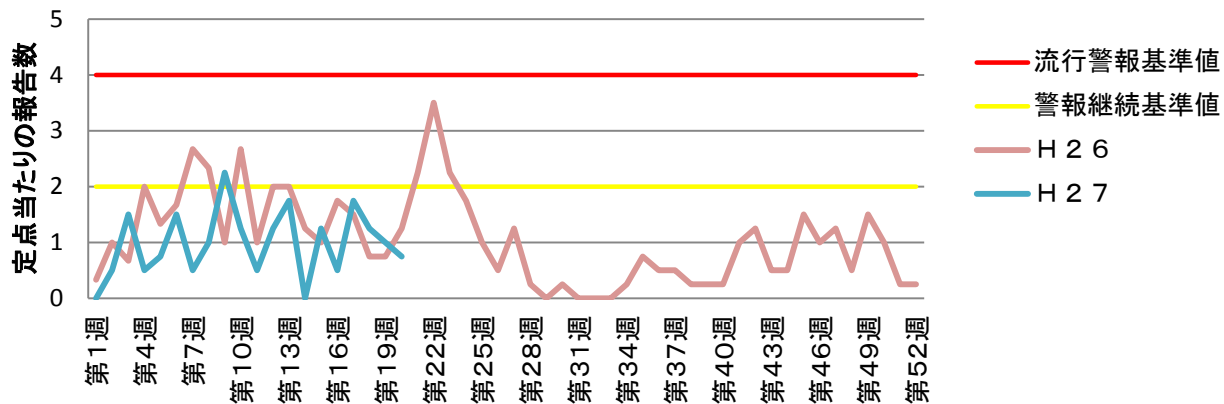
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



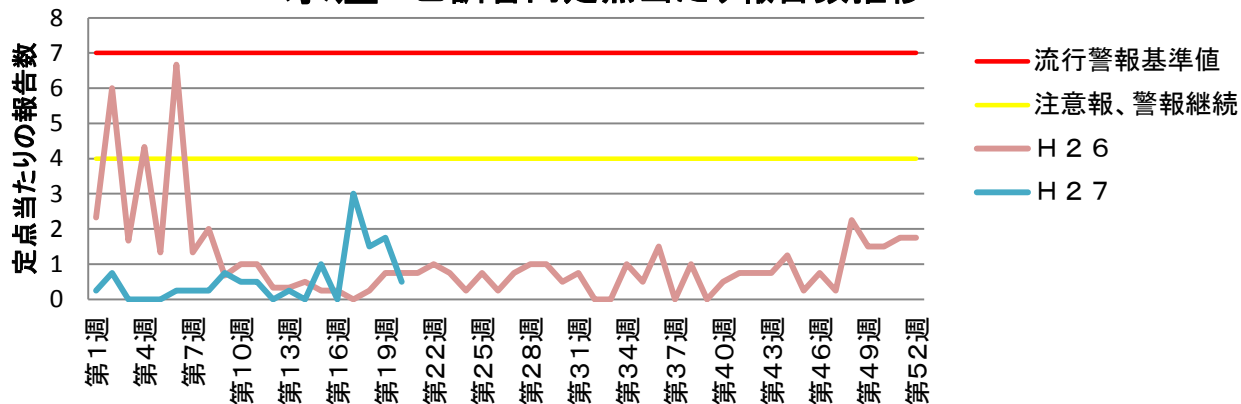
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



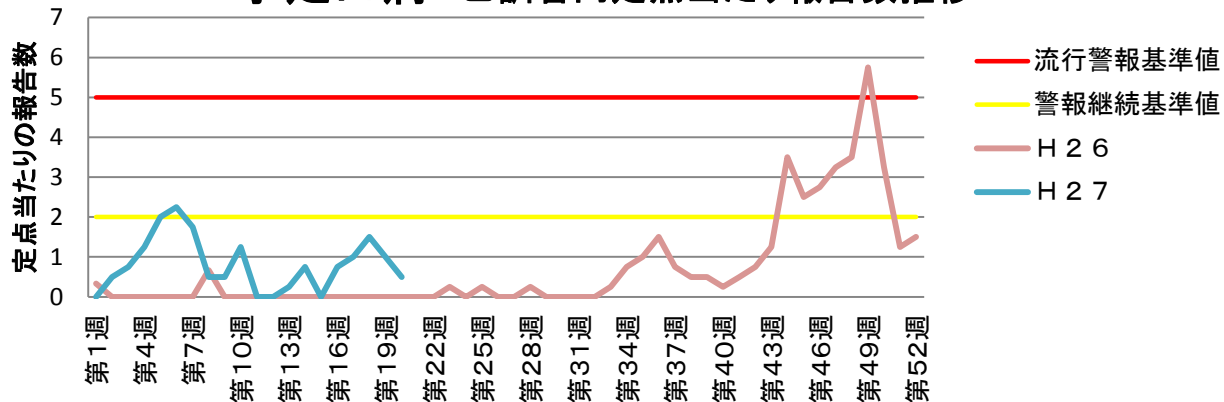
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



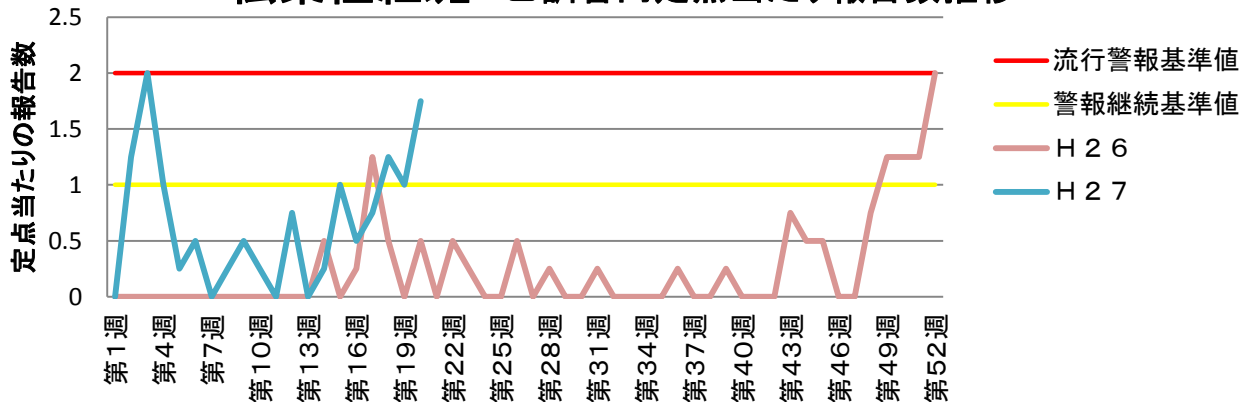
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



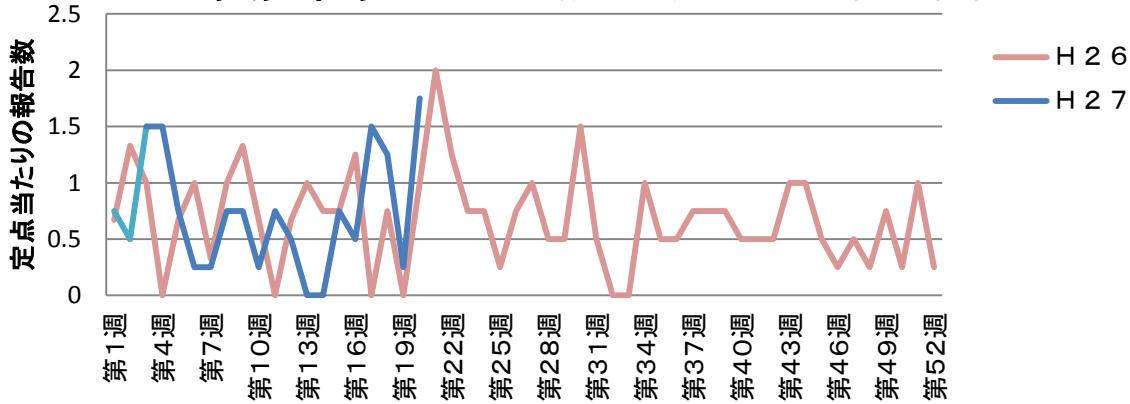
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



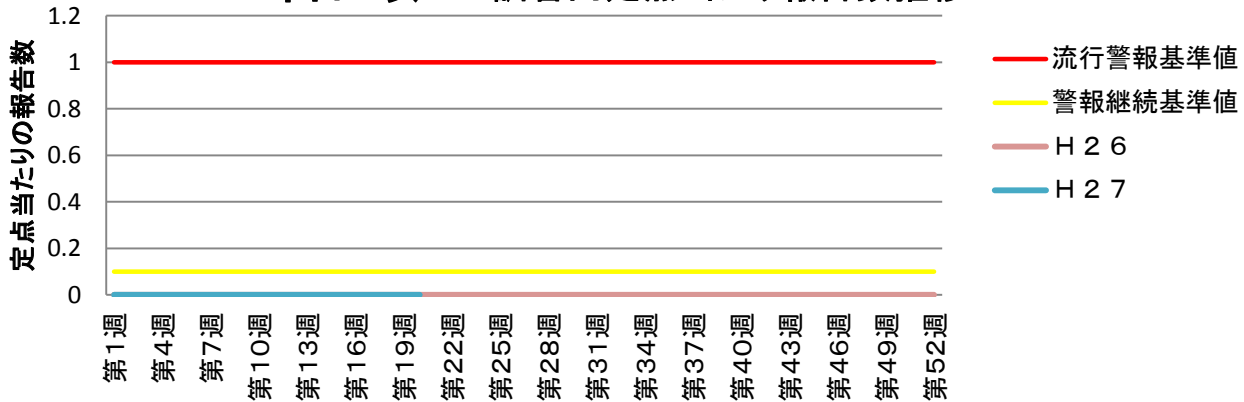
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



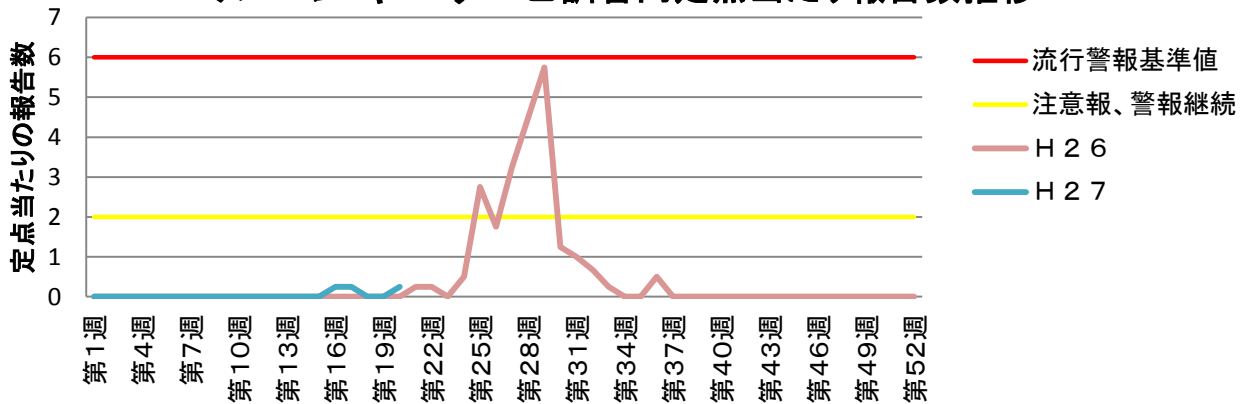
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

